

目標達成計画

作成日: 平成 23 年 9 月 12 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	29	高齢により、心身の状態が不安定となられ、機能低下され町内の文化祭や地域の行事への参加が減少する。	体調管理を行い、生活動作の残存機能の維持をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の状態(熱、血圧、排泄、食事摂取量等)をチェックし体調を把握する。 ・個々の身体機能を確認し、生活上でのリハビリを実施する。 	6ヶ月
2		利用者一人ひとりに思いがあり、いつでも自由に庭へ出たり、いろいろな心配事を思われ、特に午後から不穏になられることが多い。	利用者が安心して、生活できるよう、側に付き添い、利用者優先の対応をするという意識をもち実施する。	作業的な事は、早く終え利用者とコミュニケーションや外気浴などの支援をする。特に夕食後は、夜勤者との連携を取り、利用者対応を優先する。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。